

平成 28 年度熊本支部卒業生祝賀会のご報告

去る 3 月 17 日（金）、周知のように平成 28 年度熊本支部卒業生祝賀会を「銀杏釜めし」

（熊本県熊本市中央区花畑町 1 2 - 1 6）にて開催いたしました。この日のために駆け付けた 30 人ほどの OB が、3 名（4 名欠席）の卒業生の門出を盛大に祝いました。

学生幹事の掛地由貴人君(61 回生)の司会進行のもと、寺島隆則支部長(14 回生)の祝辞において臚の言葉をいただいたのち、突然の打診にも関わらず快諾して下さった西芳寛（30 回生）の乾杯の音頭のもと、会のはじまりと相成りました。なお、西先輩は今回めでたく熊大医学部医学科へと合格したご子息の西隆寛君（64 回生）を伴ってのご参加でした。

会も半ばとなった頃合いで、片渕秀隆副支部長(22 回生)から卒業生へ花束が贈呈され、3 名それぞれのお礼と、社会人へと踏み出す上での決意を述べて頂きました。片渕副支部長からの祝辞の中では、母校校歌中にある「万葉の桜」とは多くの垂れ下がった枝に咲き誇る桜の花のことである、という事も合わせて解説していただき、最後には村上尚彌先輩（33 回生）からやはり突然のオファーを受けた古賀暢浩先輩（33 回生）の、茶道に例をとった激励の言葉の後、恒例の校歌斉唱の中で一次会は盛大に幕を閉じました。

二次会の会場は、喫茶店界限で名を馳せる古川健美先輩（29 回生）が預かっておられる、ブルックリンカフェ（熊本県熊本市中央区新市街 3-12）でした。古川先輩がとっておきのお酒を振る舞いつつも守口文花さん（60 回生）が次々と差し出す杯に苦しめられる中、出席者一同は改めて卒業生を祝いつつ、普段はなかなか会えない OB 同士の会話を楽しんでいました。

こうして惜しまれつつも卒業生は送り出されましたが、去る人があれば来る人もあります。平成 29 年度、熊本大学には先の西隆寛君を始めとして 8 名（医学部 8 名）の附設出身者が入学しました。新入会員歓迎会においては、先の新入生をはじめとしてその他進学や転勤等で熊本に来られた同窓生を歓迎させていただく予定です。ご都合のつく方々は是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。母校同窓生であれば、現在熊本在住の方でなくともどなたでもご参加いただけます。

なお、今回の卒業生祝賀会の模様を以下の頁にて掲載しております。是非ご覧ください。

文責 眞名子 聖史（58 回生）

出席者（敬称略、回生）

（社会人）

寺嶋 隆則（14）、片渕 秀隆（22）、豊福 士文（25）、高群 博之（27）、谷口 純一（29）、古川 健美（29）、柳 文治（29）、西 芳寛（30）、中村英夫（31）、石原 光二郎（33）、古賀 暢浩（33）、村上 尚彌（33）、鷺見 仁志（57） 計 13 名

（学生）

野村 知礼（55）、稲田 泰亮（57 卒業生）、原 佑碩（57 卒業生）、永芳 友（57 卒業生）、日高 美和（57）、眞名子 聖史（58）、松永 光平（60）、守口 文花（61）、掛地 由貴人（61）、徳永 成晃（61）、松崎 恵里奈（61）、山村 稔朗（61）、鶴 拓人（61）、徳永 雄大（63）、岡崎 匡（64）、西 隆寛（64） 計 16 名









